

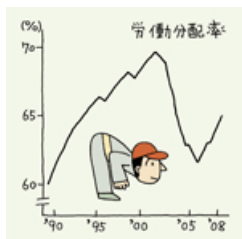
# 投光器 学習版

国労東海貨物協議会  
2012年12月25日 No.24  
発行責任者 鈴木 和巳

今年最後の学習版となりました。来年も続けますので是非読んで下さい！  
日本の未来を決める衆議院選は自民党の大幅議席拡大となり  
私たち労働者にとっては更に厳しい状況が予想されます。

企業の業績を上げることで景気向上を目指し、労働法の改悪や大企業擁護施策を続け、労働者に格差と貧困を生み出してきた自民党の政権復活が残念ながら実現してしまいました。

企業の業績が上がることは好ましいと思いますが、政財界の思惑により、企業はその利益を内部留保の拡大と株主への増配当に利用し、我々労働者へ還元しようとは考えていません。経費削減の名の下に、如何に安い労働力を使うかを考えて非正規労働者を増やし、労働生産性は向上しても労働者の賃金を抑え込み、リストラの拡大を進めている実態は「労働力の使い捨て」という現在の企業体質を表しています。



大企業は自らの生き残りや儲け第一主義を貫くために、成果主義賃金などの導入を行うなど、労使一体の労使協調組合を作り、その組合の役員に対して昇進などを餌に労働者の分断を図り、闘う労働組合に対しては攻撃を強め、闘う労働組合との決別や企業意識を押し付けてきたことは歴史が証明しています。では、このような実態にどう対抗していくのが重要となります。来春闘は重要ですよ！

## まず声を挙げよう！そして良く考えよう！

前段では一般的な企業について記載しましたが、私たちの貨物会社にも当てはまっていることが多いと思いませんか？労使協調組合は会社の目的に沿って擁護されているため最終的には会社の思うままに操られます。今回の年末手当を見ても社員の不満の声は大きいにも関わらず交渉では席上妥結していると聞いています。これでは労働条件改善も進むはずがありません。

労働組合は「労働者の労働条件改善、労働環境の改善、安全で安心して働ける職場作り」のために存在しているのであり、会社の意向を実現するために組合員を抑え込む組織ではないはずです。若手社員は少ない給料から、決して安くない組合費を払っている訳ですからもっと声を挙げましょう！



## ダイヤ改正の提案が遅すぎませんか？

来年のダイヤ改正は、吹田貨物ターミナルの開業や隅田川駅の改良工事などにより変更点が多いと言われていますが、会社からの提案は例年と同様の時期となっています。例年支社交渉の時間が確保出来ないことで会社に抗議をしている訳ですが貨物会社は変わりませんね～！

この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！